

# **卒業研究報告書の作成方法**

**0番 情報 太郎**

目次	ページ
はじめに	3
第1章 論文構成	4
1.1 構成順序	4
第2章 書式概要	5
2.1 用紙	5
2.2 余白	5
2.3 使用文字	5
2.4 ページ番号	5
2.5 数式，図，表などの配置	5
2.6 その他	6
おわりに	8
参考文献	9

## はじめに

この文書は、卒業研究報告書の書式(第1.0版)を説明するものである。卒業研究報告書を統一した書式で作成することを目的としている。

# 第1章 報告書の構成

## 1.1 構成順序

表紙，目次，報告書本文(以下、「本文」と略する)の構成とする。

### 1.1.1 表紙

論文名，出席番号，氏名を記載する。

### 1.1.2 目次

本文の構成に従って目次を作成する。

### 1.1.3 本文

本文は章で構成される。各章ごとに関連する内容の記述をおこなっていく。ただし、序文(「はじめに」など研究目的などを記述する)や結文(「おわりに」などのまとめを記述する)，謝辞，参考文献などは章としない。

## 第2章 書式概要

### 2.1 用紙

A4判を縦に用いて、横書きにする。

### 2.2 余白

用紙の余白は、以下に示す通りである。

- ・上余白 20mm
- ・下余白 20mm
- ・左余白 25mm
- ・右余白 25mm

これらの余白から読みやすさなどの点を考慮すると、本文の一行あたりの文字数は40字(全角文字換算)程度が適当である。また、行数は40行が適当である。

### 2.3 使用文字

使用する文字の大きさは、以下の表の通りである。また、アルファベットや数字などは半角文字が望ましい。まる“。”と点“、”は用いず、ピリオド“.”とカンマ“，”を用いる。

表2-1 文字の大きさ

表紙	表題 32 or 36 ポイント(ゴシック体) 出席番号、氏名 24 ポイント(ゴシック体)
目次	16 ポイント(ゴシック体)
章見出し	16 ポイント(ゴシック体)
本文	12 ポイント(明朝体)

### 2.4 ページ番号

本ページのように用紙の下中央に、表紙から順に“1”, “2”, …とする。

### 2.5 数式、図、表などの配置、番号のふり方

数式、図(画像を含む)、表などの表示は中央揃えとし、複数枚配置する場合には、横並べにするなど見苦しくならないように工夫すること。ただし、ページ全体の図、表や、すべてのプログラムリストの掲載などの記載は禁ずる。数式、図の例をそれぞれ式(2.1)、図2-1、図2-2に示す。また、表については表2-1を参考にしてほしい。

$$\frac{\partial \bar{p}}{\partial \xi_i} = -K_i u_i \quad (i = r, \theta, z) \quad (2.1)$$

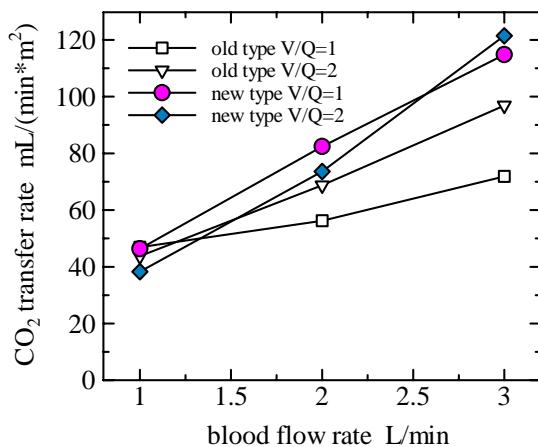


図 2-1 炭酸ガス移動量の比較



図 2-2 Palm Top PC 110

数式、図、表などの番号のふり方は、数式は表示式の後方に、

(章番号.各章の式の順番号(1からの昇順(以下同様)))

と記述し、図、表は図表見出しの前に、

図(または表)章番号-各章の図(または表)の順番号 図(または表)見出し

とする.表 2-1 , (2.1) , 図 2-1などを参照してほしい.

## 2.6 その他

適宜改行を行い, 表紙, 目次, 章などの終わりには改ページを行うこととする.

章などの構成は適切に設けること(本文を参考としてほしい.). 章などの表紙は不要とする.

目次は章見出しと節(1.1などと表示している)とし, 節は X.Yまでの表示とする. 2 ページを参照してほしい.

印刷は, 両面印刷とする.

本文で 50 ページ以上作成することとする(表示, 目次は本文には含まれない.).

## おわりに

卒業研究報告書は読む人の立場にたって、説明などを分かりやすく工夫して欲しい。研究した内容を人に説明することは、社会では非常に重要なことである。この機会を有効に役立てて欲しい。

## 参考文献

著「卒業研究報告書の書き方」(　　出版)  
卒業研究報告書の書き方 <http://www.XXXXXXXXXX.co.jp/ZZZZZ>